

## ウサギコウモリ

*Plecotus auritus* (Linnaeus)

全国カテゴリー ; 滅危惧 類

【選定根拠】 大部分の個体群で個体数が減少 大部分の生息地で生息条件が悪化

【形態】 前腕長40～45mm、頭胴長42～58mm、尾長42～55mm、体重5～13g、薄茶色、灰褐色系の体毛で、耳介がウサギのように大きい。

【分布】 イギリス、フランスから中国東北部、日本に分布。日本では、北海道、本州(中国地方を除く)、四国から報告されている。日本産を別亜種ニホンウサギコウモリ (*P. a. sacrimontis*) とする見解もある。

【県内の分布、生息状況】 県内では1974年に福島市で確認されていたが、生息していた洞穴の崩落などにより最近では確認されていない。主に洞穴において単独で見つかることが多いが、1999年以降は尾瀬の森林におけるカスミ網の調査で数個体確認され、同じ尾瀬の山小屋の屋根裏を飛翔する個体も確認されている。

【生息に影響を与えている要因】 森林伐採(ねぐらとなる大径木の消失、採餌環境の悪化) 餌となる昆虫の減少  
生息地局限 洞穴内の攪乱

【特記事項】 ふつうは樹洞を昼間のねぐらとしていていると思われるが、県外においては洞穴や家屋での繁殖例が見られる。樹洞のある自然林の消失や洞穴の崩壊などにより、生息環境の悪化が懸念される。

【生息データ件数】 3

## 【主要文献】

- 木村吉幸(2001)福島県の翼手類 . Animate , (2) : 19-21 .  
 木村吉幸他(2002b)福島県に生息するコウモリ類 . 哺乳類科学 , 42(1)  
 前田喜四雄(1994a)コウモリ目 . (阿部 永監修 : 日本の哺乳類) .  
 前田喜四雄(2002h)ニホンウサギコウモリ . (改訂版レッドデータブック) .

